

2012年7月改訂  
(記載要領変更に伴う改訂)

第2類医薬品

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また必要な時に読めるよう大切に保存してください。

# 赤玉はら薬・NY

止瀉薬

赤玉はら薬・NYは、各成分が有効にはたらき、下痢、食あたり、はき下し、腹痛を伴う下痢等に効果のある和漢生薬製剤です。



## 使用上の注意



### してはいけないこと

〔守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります〕

1. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する他の胃腸薬、乗物酔い薬
2. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください  
(目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。)
3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください  
(母乳に移行して乳児の脈が速くなる場合があります。)



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1)医師の治療を受けている人。  
(2)発熱を伴う下痢のある人、血便のある人又は粘液便の続く人。  
(3)妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(4)高齢者。  
(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(6)次の症状のある人。  
排尿困難  
(7)次の診断を受けた人。  
心臓病、緑内障
  2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- | 関係部位  | 症 状           |
|-------|---------------|
| 皮 膚   | 発疹・発赤、かゆみ     |
| 精神神経系 | 頭痛            |
| 泌尿器   | 排尿困難          |
| その他   | 顔のほてり、異常なまぶしさ |
3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
口のかわき、目のかすみ
  4. 5～6日間服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### その他の注意

母乳が出にくくなる場合があります。

裏面もよくお読みください。

# 赤玉はら薬・NY

第2類医薬品

## 【効能・効果】

下痢、消化不良による下痢、食あたり、はき下し、水あたり、くだり腹、軟便、腹痛を伴う下痢

## 【用法・用量】

次の量を、食間に水又は白湯にて服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15歳以上)	20丸	3回
11歳以上15歳未満	14丸	
8歳以上11歳未満	10丸	
5歳以上8歳未満	7丸	
3歳以上5歳未満	5丸	
3歳未満	服用しないでください	

## 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)3歳以上の幼児に服用させる場合には、薬剤がのどにつかえることのないよう、よく注意してください。

## 【成分・分量】

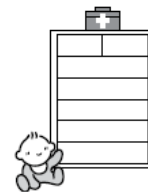
1日量(3包60丸)中

成 分	分 量
ゲンノショウコ末	900mg
オウレン末	100mg
オウバク乾燥エキス	180mg (オウバク900mgに相当)
ヨウバイヒ末	500mg
センブリ末	20mg
ロートエキス	50mg
動物胆(牛胆)	50mg

添加物として、炭酸Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、部分アルファー化デンプン、乳糖水和物、サリチル酸、寒梅粉、タルク、酸化チタン、アラビアゴム、赤色3号、黄色5号、カラメルを含有する。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4)1包を分割した残りをを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (5)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。



## 〈お問い合わせ先〉

本剤のご使用により、何かお気付きの点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

日本薬剤株式会社「お客様相談窓口」

電話番号 076-424-2239

〔月～金 9:00～17:00 (祝日を除く)〕

製造販売元 **日本薬剤株式会社**  
富山市東中野町一丁目1番1号

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独) 医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)